

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170500039		
法人名	社会福祉法人 伊万里敬愛会		
事業所名	社会福祉法人 伊万里敬愛会 グループホーム椎の木の家		
所在地	佐賀県伊万里市黒川町塩屋173番地1		
自己評価作成日	令和5年10月	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	------------------------------------------------------------------------------

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和5年11月24日	外部評価確定日	令和5年12月27日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>①3地区の区長・民生委員・地域包括支援センター職員・家族代表の方が、運営推進会議のメンバーに入っているため、事業所としていような情報や意見などが得られる。また、地域の方が事業所の内容や認知症に対する理解があり協力が得やすい②今年度は新型コロナウイルスの終息に向かい、徐々に地域行事の参加をさせていただいている。③令和5年5月より新築移転に伴い、天窓などの設置などで明るい環境にてご利用者が安心して生活していただけるような環境となっている</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>母体は社会福祉法人 伊万里敬愛会である。平成15年に民家改修型の事業所「グループホーム椎の木の家」として定員9人で開設された。令和5年5月新たな土地に新築され、2ユニット18人の定員となっている。引っ越しの際には新規の職員と2か月ほど一緒に過ごす時間を作り利用者との馴染みの関係づくりの配慮もされている。「認知症があっても一人一人が地域の中で当たり前のように暮らしながら、人間の尊厳を大切に生きていく」というモットーは現在も変わらず全職員が意識しながら日々の支援が行われている。基本的な1日の流れはあるが、利用者の自己選択も大事と考え、臨機応変に対応している。施設の持つ認知症のスキルを持って地域、保険者と顔の見える関係が築かれている。太陽光での蓄電設備があり災害時対応も可能である。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 )	自己評価／ユニットB( 橘 )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	椎の木の家の理念「認知症があっても一人一人が地域の中で当たり前暮らしながら、人間の尊厳を大切に生きていく」を念頭に、業務の中に取り入れている。	椎の木の家の理念「認知症があっても一人一人が地域の中で当たり前暮らしながら、人間の尊厳を大切に生きていく」を念頭に、業務の中に取り入れている。	理念は施設内に掲示され、職員がいつでも確認することができる。マナーアップ運動を推進しており、礼節を持った言葉遣いが指導されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年は地区行事(祇園祭、おくんち)などに参加し地域交流を行っている。	今年は地区行事(祇園祭、おくんち)などに参加し地域交流を行っている。	日常的に散歩に出かけ、地域の人とあいさつを交わしたり、話をしている。学校に出向き認知症講話を行うこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の民生委員会の新年の挨拶には、必ず参加して情報を共有している。また、地域でおこなわれているサロンにも参加するように心掛けている。	毎年、民生委員会の新年の挨拶を通して情報共有を行い、地域貢献を図っている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にも参加して頂き情報交換を行なっている。また、分からない事など電話での対応でも解決できるようにしている。	運営推進会議にも参加して頂き情報交換を行なっている。また、分からない事など電話での対応でも解決できるようにしている。	会議では事業所からの報告とともに参加メンバーからの質問や意見、要望を受け、より良い施設運営を心がけている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 )	自己評価／ユニットB( 橘 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にも参加して頂いているので情報交換を行なっている。また、分からない事など電話での対応でも解決できるようにしている。	運営推進会議にも参加して頂いているので情報共有を図ったり、分からないことがあれば電話などで聞いたりして連携をはかっている。	制度上の問題で不明な時など相談している。運営推進会議の地域の参加者から夜間の開催の要望があり担当者へ相談すると快諾してもらった。小学校や中学校での認知症の体験講座の依頼も受けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員勉強会を開催し身体拘束の理解につとめ、施設横は車の通りや川があるため、廊下の非常口施錠も含めて、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員勉強会を開催し身体拘束の理解につとめ、施設横は車の通りや川があるため、廊下の非常口施錠も含めて、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束はない。高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会を事業所の中で実施し、職員の共有認識を図っている。転倒のリスクのある利用者には家族の理解を得てセンサーを設置し対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について、ニュースなどで他の施設の情報が流れた時など、椎の木の家会議で取り上げ話合って学ぶようにしている。また、虐待についての勉強会にも参加している。	虐待について、ニュースなどで他の施設の情報が流れた時など、椎の木の家会議で取り上げ話合って学ぶようにしている。また、虐待についての勉強会にも参加している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、対象者がいない。研修内外で、学ぶ機会があれば、参加し学ぶようにしている。	現在、対象者がいない。研修内外で、学ぶ機会があれば、参加し学ぶようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に見学へ来て頂いて、家族様や利用者様の質問を聞くようにしている。また、事前に、利用者様の面会へ行き情報を得ている。必要に応じて、医師から説明をして頂いている。	新規利用者様のご希望であれば事前に見学に来ていただいたり、パンフレットなどを用いて、家族様や利用者様の質問に答えている。また、現在、サービス利用している事業所に赴き情報を得ている。そして、契約の際も説明、ご質問等聞き、同意を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 )	自己評価／ユニットB( 橘 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関内に意見箱を設けている。新型コロナウイルス感染予防のため面会制限を行っている。また、電話や広報誌・写真等を送付し利用者様の様子を見てもらった。家族から電話を頂く事が多く、意見・要望など聞く機会も出来た。また、職員へ情報共有し、話し合っサービス向上に努めている。	玄関内に意見箱を設けている。面会も事前に電話にて予約をしていただき、面会者3名以下10分で現在面会をしていただいている。広報誌・写真等を送付し利用者様の生活風景を見ていただいている。家人からの意見・要望などを職員へ報告し情報共有し、話し合っサービス向上に努めている。	運営推進会議や面会の時にできるだけ声をかけ、なんでも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。外出やメリハリのある生活、オムツ外しなど希望される関係は多い。ミーティングで話し合い反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の椎の木の家会議の時に、職員の意見(月行事・利用者の担当)を聞き、日常業務にも取り組んでいる。必要に応じて、話合う機会を設けている。	月1回の椎の木の家会議の時に、職員の意見(月行事・利用者の担当)を聞き、日常業務にも取り組んでいる。必要に応じて、話合う機会を設けている。	事前に会議内容を伝え、職員からでた意見や情報を取り入れた会議となるよう努めている。2ユニット合同の会議を行っているが、各ユニットでの会議の必要はないかとの意見もあり会議の在り方を検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回、職員個々の自己評価を行っている。それを元に上司が評価をし、必要に応じて面接を行なっている。働きやすい職場環境・条件整備に努めている。	年に2回、職員個々の自己評価を行っている。それを元に上司が評価をし、必要に応じて面接を行なっている。働きやすい職場環境・条件整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修には、出来る限り参加させキャリアカードを作成し活用している。知識や技術を深めてもらっている。	法人内外の研修には、出来る限り参加させキャリアカードを作成し活用している。知識や技術を深めてもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍で職員勉強会のみ実施してきましたが、外部研修の参加を今後検討していきたい。意見交換の機会を作れるように図りたい。	コロナ禍で職員勉強会のみ実施してきましたが、外部研修の参加を今後検討していきたい。意見交換の機会を作れるように図りたい。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 )	自己評価／ユニットB( 橘 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に面会を行い、利用者様や家族の意見を聞き取り、安心してサービスを受けて頂けるように心がけている。体験入所された方はいなかったが、入所されて寄り添う事で信頼関係を築き、安心して生活して頂くように心掛けている。	事前に担当ケアマネジャーや現在サービスを受けられている事業所を通じて、利用者様の状況の把握、こちらのサービスに対する要望の聞き取りを行って、入所されても利用者様の安心を確保するための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に、家族から利用者様の情報収集を行い、見学してもらい事業について説明を行なっている。不安な事や要望なども聞き取るように心掛けている。	入所前に、要望があれば施設見学をしていただき、事業内容の説明もおこなっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様・家族の要望を聞き、ケアマネジャー・担当とも話し合い、必要とされている支援を把握し支援に努めている。	利用者様・家族の要望を聞き、ケアマネジャー・担当とも話し合い、必要とされている支援を把握し支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事・出来ない事を見極めて、お互い協力する事を心掛けて、日常生活を送って頂いている。	出来る事・出来ない事を見極めて、お互い協力する事を心掛けて、タオルたたみなどしていただきながら、日常生活を送って頂いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	新型コロナウイルス感染予防により面会制限があり、利用者様・家族が交流できる場が少なかったが、必要に応じて家族の方にも協力して頂くように努めた。	今年は、年に1回の家族会を開催し、オープン前に新しい椎の木の家の見学をしていただいた。また、面会もしていただき、利用者様と家族の絆の構築に努めた。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜)	自己評価／ユニットB(橘)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事へ参加する事を大切に、馴染みのある方との交流を持つことが出来るように地域の行事やボランティアの活動に参加させていただいた。また、馴染みの場所まで散歩したりドライブなどを行った。	今年はコロナ5類になり、地区の諸行事が数年ぶりに開催され、地区行事へ参加(祇園祭、おくんち)できた。	馴染みの人との交流につなげることができると考え、地域の行事には積極的に参加している。時には散歩の途中に元気な頃働いていた職場に立ち寄ることもある。関係の途切れない配慮が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝の体操にみんなが参加できるように努めている。また、気が合った者同士、行動される場合もあり、その人に合った関わりを持つように心掛けている。	利用者同士の関係を配慮し、食事の際の席位置を考えている。また、孤立されないように声かけしながら支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時や施設への長期入所は、職員が面会に行くように心掛けている。また、家族の方とも交流もありいろんな情報を得ている。	サービス終了後、入院や他サービスを利用されている事業所と必要時、連携とりながら、本人、家人の経過のフォローを行っている。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様・家族・担当者・ケアマネジャーと話し合いを持ち、本人にあった介護計画書を作成している。評価もを行っている。また、日常生活の中での会話を大切に話しをする事で、思いや要望などを聞き取るように努めている。	ケアプラン更新時に事前に本人、家族にサービスに対する要望を聞いて、サービス目標、支援につなげている。	日々の関りの中で声をかけ、把握に努めている。言葉や表情からその真意を推し量り、それとなく確認するようになっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様との会話の中で、生活歴への情報収集に努めている。また、家族へ聞く事で、どの様に生活をされていたか情報収集に心掛けている。	サービスを受けられている事業所、担当ケアマネジャー等に生活歴などの情報収集につとめ、モニタリングにてサービス経過の把握につとめている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 )	自己評価／ユニットB( 橘 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活記録(ケアカルテ)を行ない、朝礼時に、朝夕の夜勤から日勤者へ日勤者から夜勤者へ申し送りし情報共有している。	日々の記録(ケアカルテ)にて、最近の心身状態の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時や必要に応じて電話にて、近況を伝えるようにしている。その中で、家族と本人様との会話を聞き取り、必要に応じてケアについて話し合いを持っている。また、ケアプランを見直すことで、その人に合った支援に取り組むように心掛けている。	家族には、電話、面会時に近況を報告し、現在抱えている課題、ケアについて共有している。また、月1回の会議を開催し、課題、ケアのあり方について職員間でも共有している。	それぞれのユニットにケアマネジャーがスタッフとして配属されている。計画に沿った支援を行うために定期的にモニタリングを行い、職員間で情報を共有している。本人や家族には日々の関わりの中で、思いや意見を聞き、反映させるようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活記録(ケアカルテ)へ日々の記録をしている。情報を共有することで、介護計画書・ケアに繋げて、評価・見直しをしている。	日々の記録を申し送り等で職員間で共有し、介護計画の見直し、今後のケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在、新型コロナウイルスの影響により、以前の様に家族交えての行事開催が難しくなっているが、職員の勤務時間を調整しながら、椎の木の家独自の方法で行なっている。家族へ写真を送付し利用者様の状況を見て頂いている。	利用者様の日々の言動を記録に残し、その中で本人様のニーズに沿ったケアを行うよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で行われる行事は、地域の方へ協力をお願いし安全に楽しむ事が出来ていた。今後も行事等がある場合は参加したい。また、運営推進会議を利用し、災害時の対応について話し合いを持ち、協力して頂くようお願いし継続していきたい。	地域で行われる行事に参加し、感染面で配慮しながら支援を行っている。また、運営推進会議にて災害面、地域行事の情報共有を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 橘 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	入所時にかかりつけ病院を聞き取り、 必要に応じて受診をしてもらっている。 又、かかりつけ病院がない利用者様 に関しては、協力病院を紹介し承諾を 頂いている。	入所時にかかりつけ病院を聞き取り、 必要に応じて受診をしてもらっている。 又、かかりつけ病院がない利用者様 に関しては、協力病院を紹介し承諾を 頂いている。	入居前から協力医が、かかりつけ医 だったという利用者が多く、スムー ズな診療が行われている。必要が あれば専門医(眼科、歯科など)の 訪問診療も受けられる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	緊急時や判断を聞きたい時は、協 力病院へ相談している。また、週1回 医療連携を活用し、担当の看護師 へ相談やアドバイスを頂いている。	緊急時や判断を聞きたい時は、協 力病院へ相談している。また、月1回 の往診、週1回医療連携を活用し、 担当の看護師主治医への相談やア ドバイスを頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている。 る。	入院時は、入院されている病院の ソーシャルワーカーを窓口にして、 連絡を取り合い情報共有している。	入院時は、入院されている病院の ソーシャルワーカーを窓口にして、 連絡を取り合い情報共有している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	グループホームでの生活が困難な 場合は、主治医と家族と話し合う場 を儲けて、利用者様・家族が安心で きるような支援に取り組んでいる。	契約時に利用者様が重度化された 場合のケアのあり方について説明、 同意をいただいている。また、グ ループホームでの生活が困難な場 合は、主治医と家族の今後の方針 について話し合いの場を設けている	終末期に入ると家族と主治医の話 し合いで決まることが多い。多くの 利用者は医療機関を選択されることが 多い。過去には施設で家族と一緒 に看取った経験はある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜)	自己評価／ユニットB(橘)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部・内部研修にて、緊急時の対応について学習している。また、地域の消防の派遣をお願いし、緊急時の対応についてもアドバイスを頂いている。	外部・内部研修にて、緊急時の対応について学習している。また、地域の消防の派遣をお願いし、緊急時の対応についてもアドバイスを頂いている。	/	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回の消防避難訓練・災害時の避難訓練を行なっている。地域の消防署より来て頂き、通報訓練・避難誘導・消火器の使用・非常ベル・火災通報装置など説明を受けている。地域の方へ声かけし見守りをお願いしている。	年3回の消防避難訓練・災害時の避難訓練を行なっている。通報訓練・避難誘導・消火器の使用・非常ベル・火災通報装置など説明を受けている。地域の方へ声かけし見守りをお願いしている。	グループホーム単独で訓練を実施している。1回は夜間想定で行っている。地域の消防団との合同訓練の機会を作りたいと考えている。避難場所については家族、地区消防団には伝えている。食料や飲料、紙オムツなどの備品は1週間分ほど備えている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念を基に対応している。又、マナーアップ運動を行い、言葉掛け等利用者様ばかりだけでなく、職員間も気をつけている。	理念を基に対応している。又、マナーアップ運動を行い、言葉掛け等利用者様ばかりだけでなく、職員間も気をつけている。	援助が必要な時もまずは本人の気持ち大切に考えてさりげないケアを心がけたり、自己決定しやすい言葉かけをするよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活での関わりや椎の木サロン等で、利用者様へ希望を聞き取りが出来るような言葉かけを行ない、支援するように努めている。	日常生活の中での利用者様の思いに対し、それに沿ったケアに努めている。	/	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 橘 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様へ寄り添い、会話をしながら、一人一人のペースに合わせて、支援を行なうようにしている。	利用者様へ寄り添い、会話をしながら、一人一人のペースに合わせて、支援を行なうようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝、整容している。また、衣類を選ぶことができる方については、選んで頂いている。	毎朝、整容している。また、入浴日でない利用者様に対しては、おしぼりで顔を拭いたり、衣類交換を行ったりして、身だしなみにつとめている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配食で対応している。その人に合った食事形態で対応し、出来る限り嗜好を大切に対応している。又、お茶を注いだりできる事はして頂いている。	厨房の配食で対応している。その人に合った食事形態で対応し、出来る限り嗜好を大切に対応している。	給食委員会があり、グループホームからも委員のメンバーとして参加し、情報交換や行事食の希望など出している。時には栄養士が施設を訪問し直接、利用者から聞き取る機会がある。施設内でぼたもちや干し柿などを作り食することもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量や形態やカロリーについては、栄養士に相談し、利用者様一人一人に合わせ提供している。水分補給は、食事以外にも、間食で2回水分補給するようにしている。それ以外でも、状況に合わせるよう努めている。	食事の量や形態やカロリーについては、栄養士に相談し、利用者様一人一人に合わせ提供している。水分補給は、食事以外にも、間食で2回水分補給するようにしている。それ以外でも、状況に合わせるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、毎回口腔ケアを行なっている。洗面所へ行ける方は、誘導し歯磨きをして頂いている。就寝前には、入れ歯を洗浄剤へ浸けて、起床時に渡している。	食後、毎回口腔ケアを行なっている。洗面所へ行ける方は、誘導し歯磨きをして頂いている。就寝前には入れ歯を洗浄剤へ浸けて、起床時に渡している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 橘 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録を確認し対応している。その人に合ったパンツ・パットを使用し、出来る限り排泄を促している。排泄内容・時間を記録している。	排泄記録を行い、排泄の訴えがあった場合、トイレ誘導、排尿量を考え、その人にあったおむつ、パットを使用している。	基本はトイレでの排泄、座位保持が難しい利用者は二人介助で行っている。紙おむつ代を少しでも少なくしたいという職員の気持ちもあるが、自立へと繋がったケースもある。便通をスムーズにする食材へのこだわりもあり、食物繊維の多いキノコ類やイモ類の献立も多い	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックシートを確認し必要に応じて対応している。又、乳製品の摂取等行なっている。	排便を朝、確認し、3日排便のない場合は、主治医より処方された坐薬、飲み薬で対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様の入浴は、2、3日おきで対応しているが、本人の希望も聞いて支援している。入浴しない方については、衣類交換・部分清拭等を行い清潔保持に努めている。	利用者様の入浴は、2、3日おきで対応しているが、本人の希望も聞いて支援している。入浴しない方については、衣類交換・部分清拭等を行い清潔保持に努めている。	午後の時間帯での入浴が支援されている。個室である。ヒートショック予防の対策として暖房設備がある。浴室は浴槽にはリフトが設置され、利用者も職員も負担軽減となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、部屋で休んで頂いたり、リビングで過ごされたり過ごし方も自由である。就寝時もバラバラで、利用者様の状況で対応している。	本人の意思を尊重し、休みたい方、眠そうな利用者様は部屋へ誘導し、その他の方はリビング等で過ごしていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に、お薬ノートを管理し、内容が確認できるようにしている。また、薬局へ薬を取りに行った場合は、症状など聞かれる場合もある為、確認するようにしている。	個別に、お薬ノートを管理し、内容が確認できるようにしている。また、薬局へ薬を取りに行った場合は、症状など聞かれる場合もある為、確認するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 橘 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ等、出来る事は、お願いしている。又、利用者様の要望で、長年、好んで飲まれていた物や利用者様の嗜好品など聞き取り、取り入れる事で楽しみを持って頂いている。	日々の生活の中で、洗濯物たたみ、行事の飾り等の作成を一緒にしたりしている。また、散歩の訴えがあれば、時間を調整し、散歩の付き添いを行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の行事やホームでの行事があった場合は、出かけるように心掛けている。利用者様の希望を聞き必要に応じて職員が付き添い対応している。また、留守にする場合は、近所の方へ声掛けし出かけるようにしている。	地域の行事やホームでの行事があった場合は、出かけるように心掛けている。利用者様の希望を聞き必要に応じて職員が付き添い対応している。また、留守にする場合は、近所の方へ声掛けし出かけるようにしている。	天候を見ながら日常的に外出している。歩行困難な利用者は 車いすなどを利用し戸外に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お一人の方が自分でお金の管理をされていて、買い物に行きたいと言われた場合は職員が付き添い、買い物の支援を行っている。その他の方は事業所で管理している。	事業所で管理し、衣服購入時等必要時に支出している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在、現金を所有されている方はいないが、外出した時は、希望に応じて支援している。	家族に電話したいと希望があった場合は、家人に電話し、必要時は今までのいきさつを説明した上で、利用者様にかわり支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 桜 )	自己評価／ユニットB( 橘 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓があり、明るく、開放感がある。また、各部屋の冷暖房をつけるタブレットに温度も表示されていて、それを元に温度管理を行っている。	天窓があり、明るく、開放感がある。また、各部屋の冷暖房をつけるタブレットに温度も表示されていて、それを元に温度管理を行っている。	玄関を入ると左右にそれぞれのユニットがある。長い廊下の両側に居室、浴室、2カ所のトイレが配置されている。廊下には2台のエアコンが設置され、温度管理されている。また職員の負担軽減のためにルンバが時間になったら掃除を行っている。普段、食堂兼ロビーは扉で塞がれているが行事の時は解放され広い空間となる。施設内には自動販売機が置かれており、利用者、職員がワンコインで購入できる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで過したり、部屋で休まれたり一人一人の状況に合わせて過ごして頂いている。また、気の合った方が隣に座って頂くようにしている。	リビングで過したり、利用者様には各自、部屋を設けているので、独りになりたい場合はそこで過ごしていただいている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に部屋を案内し、本人様・家族とも話し合い部屋を決めて頂いている。必要に応じて、部屋替えも行っている。また、家族の写真や絵などを飾り居心地よく過ごされるように工夫している。	入所時に部屋を案内し、本人様・家族とも話し合い部屋を決めて頂いている。必要に応じて、部屋替えも行っている。	各部屋の入口には伊万里焼きの板版が飾られ土地柄が偲ばれる。また名札には災害時の避難済の確認ができる工夫が施されている。居室の中には空気清浄機、時計と湿温計が常設され環境管理が行われている。部屋替えの必要性は多くがトイレの問題で、トイレの回数が多い利用者にはトイレに近い部屋を使用してもらっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な箇所には、手すりを設置している。また、出来る限り、段差も解消している。	必要な箇所には、手すりを設置している。また、バリアフリーになっており、段差がほとんどない。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない